

相続のトラブル（適正な遺産分割を求める例）

（申立の趣旨） *申立用紙「申立の趣旨」の4番に記載します。

4 その他（具体的に）

亡き父A名義の遺産について、適正妥当な遺産分割をする。

内容でのあつせんを求めます。

（申立の理由） *具体的に記載して下さい。

1 当事者について

申立人（弟）と相手方（兄）の父Aは、平成×年×月×日に、〇〇病院にて、病死しました。Aは遺言を残していません。

Aの相続人には、申立人と相手方のほか、姉2名がありますが、いずれも相続を放棄しました。なお、相続人のうち、申立人と相手方の両世帯は、同じ建物に同居して暮らしています。

2 遺産について

Aの遺産は、次のとおりです。

①不動産

・土地

東京都〇区△町1-1-1 宅地 ××平方メートル（×坪）

・建物

同所

居宅 木造2階建て

1階 ●●平方メートル（×坪）

2階 ▲▲平方メートル（×坪）

②預貯金・現金その他

・預金

〇〇銀行△支店 普通1 2 3 4 5 6 7 A名義 金×××円

定期2 3 4 5 6 7 8 A名義 金×××円

③家財道具一式

3 争いのない点

遺産の範囲・内容。不動産を、兄弟の共有名義とし、持ち分も2分の1ずつとすること。

4 争いのある点

預金について、相手方が、2分の1ずつ折半と主張するのに対し、申立人は、少なくとも3分の2は、自分に権利があると主張します。

5 関連事情

相手方家族は、平成●年頃まで、地方で生活しており、実家に仕送りをすることもありませんでした。その間、父母の面倒は、申立人だけが、一人で看てきました。その点が、相続でも考慮されるべきです。ただ今回の遺産分割は、身内のことなので、できるだけ穏便に話を進めたいと思います。

6 添付資料

戸籍謄本・除籍謄本、登記簿謄本、預金通帳の写しなど